

＜思い ――中山道大井宿から、岐阜17宿へ。そして中山道69宿へ――＞

「過去に新たな視点で光を当てることで、現在を変え、未来を変える。過去を生きた人たちに感謝し私たちはきちんと生きているのだろうか」と問い直す。歴史を書かせていただくにあたっての、私のテーマは不動です」

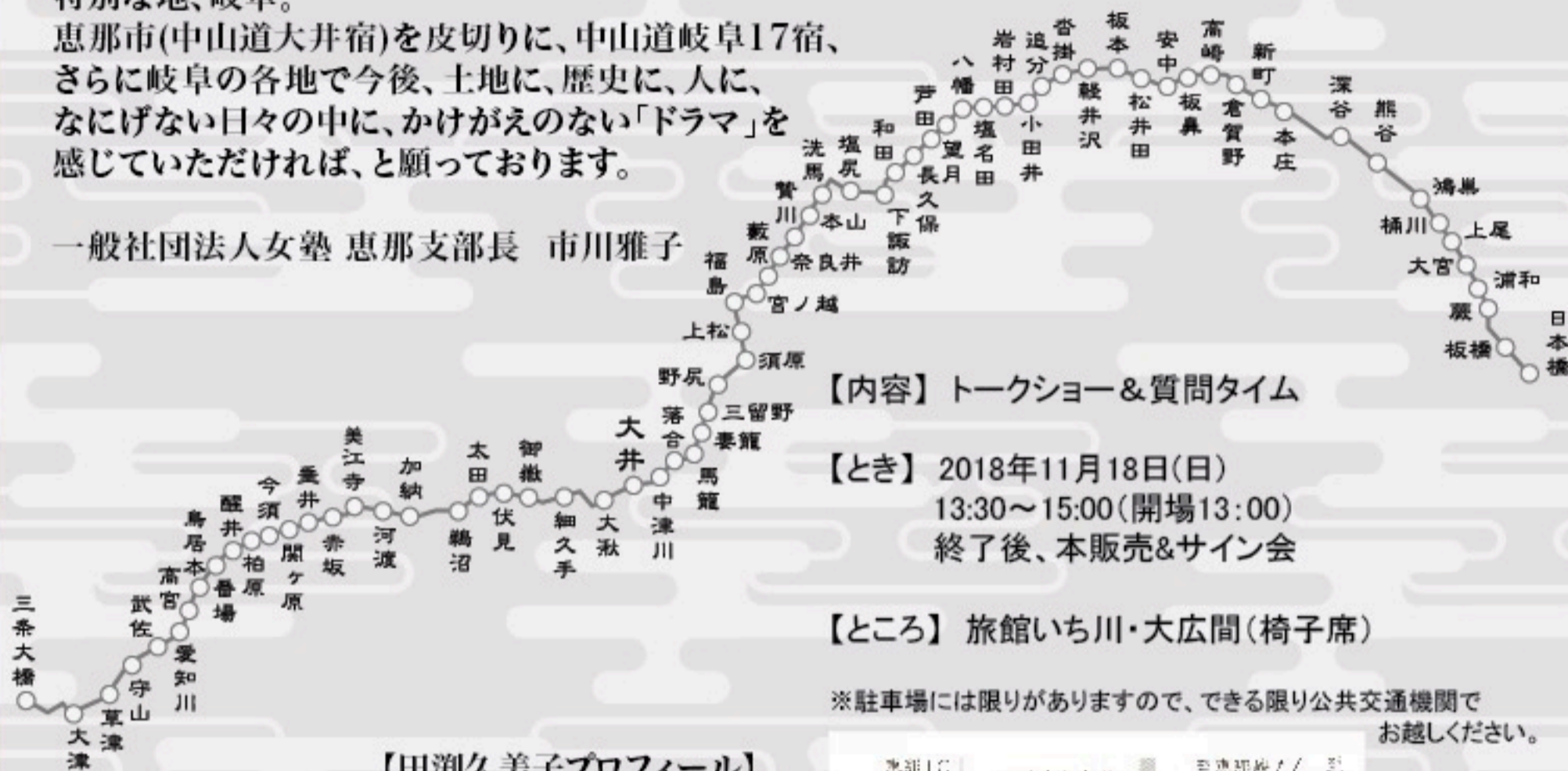
そのように語る大河ドラマ『篤姫』の脚本家、田淵久美子さんが、篤姫と和宮、2人の生きた覚悟の道を辿りながら、どんな困難に出会っても明るく前向きに生きるためのヒントをお届けします。

田淵久美子さんは、2002年に岐阜県高山市、飛騨市古川町、郡上市を舞台にした朝ドラ『さくら』を。大河ドラマ50作目にあたる『江～姫たちの戦国～』では、岐阜城時代の信長、秀吉を。また、最新作である歴史小説『おね』でも、岐阜城時代の信長その他、秀吉、秀吉の正妻おね、明智光秀、竹中半兵衛など、岐阜にゆかりの深い人物を生き生きと描いています。

山々は美しく、水も空気もおいしく、なにより人々が温かい。田淵久美子さんが第二の故郷ともよぶ特別な地、岐阜。

恵那市(中山道大井宿)を皮切りに、中山道岐阜17宿、さらに岐阜の各地で今後、土地に、歴史に、人に、なにげない日々の中に、かけがえのない「ドラマ」を感じていただければ、と願っております。

一般社団法人女塾 恵那支部長 市川雅子



【内容】トークショー&質問タイム

【とき】2018年11月18日(日)  
13:30～15:00(開場13:00)  
終了後、本販売&サイン会

【ところ】旅館いち川・大広間(椅子席)

※駐車場には限りがありますので、できる限り公共交通機関でお越しください。

【田淵久美子プロフィール】

鳥根県生まれ。脚本家・作家。出版社勤務、塾講師などを経てシナリオスクールへ通い、85年デビュー。

テレビドラマに『勝利の女神』『ニュースの女』『殴る女』『彼女たちの結婚』『ブランド』『定年ゴジラ』『女神の恋』『美女と男子』『定年女子』など多数。  
NHK連続テレビ小説『さくら』では橋田賞受賞。  
『冬の運動会』が放送文化基金賞・テレビドラマ番組賞を受賞。

映画『恋する彼女、西へ』、舞台『笑われたかった男』、落語『嗚う伊右衛門』、狂言『耳なし芳一』、ミュージカル『とびらのむこうに』なども。

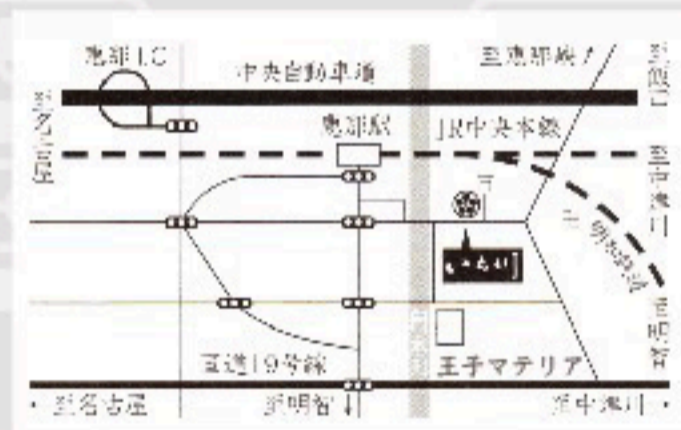
2008年のNHK大河ドラマ『篤姫』は空前の大ヒット。  
2011年の大河ドラマ第50作目にあたる『江～姫たちの戦国～』の原作・脚本を手がける。

エッセイに、『女の道は一本道』(小学館)、『毎日が大河』(幻冬舎)等。  
小説に、『江』上下巻(NHK出版)『美女と男子』(NHK出版)等がある。最新作は『おね』上下巻(NHK出版)。

2009年 鳥根県益田市名誉市民賞受賞。韓国より、『篤姫』に功労賞が贈られる。『篤姫』橋田賞を受賞。

2009年より現在まで、TBS番組審議委員を務める。

所属 (株)プロダクション尾木  
女性の生き方を支援する『女塾』の塾長を務める。



〒509-7201 岐阜県恵那市大井町95-1  
JR恵那駅から徒歩7分

【定員】80名(先着順。定員になり次第締め切ります)

【参加費】2,000円(当日、受付にて現金で承ります)

【申込・お問合せ先】  
電話又はメールにてお申込みください

Tel:0573-25-2191 (旅館いち川 トークショー受付係)

Mail:onnajukuena@gmail.com

※メールの場合は①件名「トークショー予約」②お名前 ③お電話番号をお送りください